

# 育苗中の温度管理と病害対策

## 浸種・催芽時の温度

種子消毒後の種粒を10～15℃で調整した水に浸漬します。浸漬期間は積算水温（平均水温×浸種日数）で100℃程度が目安です。（例：水温15℃×7日間）

※水温10℃未満になると出芽率が低下する恐れがあるので注意。

※水温20℃以上では細菌が増殖しやすく、苗立枯病の発生を助長する恐れがあるので注意。

出芽を揃えるための催芽処理は30℃で、加温時間は16～20時間が目安です。ハト胸状態（幼芽長1mm以内）になったことを確認して催芽を終えます。

※32℃以上の高温では細菌病の発生リスクが高まるので注意。




## 出芽～硬化時の温度と病害対策


薬剤防除を行っていても病原菌が好む環境をつくってしまうと病気が発生します。また、ばか苗病や細菌性病害は発生してしまうと治療する農薬が無いので、育苗箱内の床土温度（被覆資材下の温度）をこまめに確認して適切な温度管理に努めましょう。


		出芽		緑化期	硬化期
		加温の場合 (育苗器)	無加温の場合 (ハウス)		
床土温度 の目安	昼	30℃	20～30℃	20～25℃	25℃以下
	夜		10～20℃	15℃前後	10℃前後

対象病害別 農薬早見表		苗立枯病（カビによる病気）				細菌性病害		ばか苗病
用途	農薬名	リゾーパス菌	ヒシム菌	フザリウム菌	トリコデルマ菌	もみ枯細菌病	苗立枯細菌病	
種子消毒	ヘルシード T フロアブル	●			●	●		●
	エコホーフ DJ	●				●	●	●
用土消毒	フタバロン A 粉剤	●				●	●	
	ダコニール 1000	●						
	ナエファインフロアブル	●	●	●				
	タチガレエース M 液剤		●	●				
	ダコレート水和剤	●		●	●			

<h2>リゾーフス菌</h2> <p>床土表面に灰白色の綿毛状のカビ</p>		<b>発生原因</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 出芽時の高温 (32℃以上)</li> <li>● 緑化期～硬化初期の低温 (10℃以下)</li> <li>● 床土の過湿</li> </ul>
		<b>対策</b> <p>よく換気して高温を避け、乾燥気味に管理する。緑化が終了している場合は、日光に当てて殺菌する。</p> <p><b>【予防剤】</b> ナエファインフロアブル</p> <p><b>【治療剤】</b> ダコレート水和剤</p>

<h2>ピシウム菌</h2> <p>葉が糸状に萎凋 坪状に枯死</p>		<b>発生原因</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 育苗期間中の低温 (10℃以下)</li> <li>● 日照不足</li> <li>● 床土の過湿</li> </ul>
		<b>対策</b> <p>夜間の保温に努める。 かん水は控えめにする。</p> <p><b>【予防剤】</b> ナエファインフロアブル</p> <p><b>【治療剤】</b> タチガレエースM液剤</p>

<h2>フザリウム菌</h2> <p>苗の地際部や根が褐変 籾周辺に淡紅色のカビ</p>		<b>発生原因</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 播種後～硬化初期までの低温 (10℃以下)</li> <li>● 乾燥と過湿を繰り返す</li> <li>● 肥料不足</li> </ul>
		<b>対策</b> <p>苗や根の活力を低下させない。</p> <p><b>【予防剤】</b> ナエファインフロアブル</p> <p><b>【治療剤】</b> タチガレエースM液剤 ダコレート水和剤</p>

<h2>トリコテルマ菌</h2> <p>地際部や籾周辺に 白～青緑色のカビ</p>		<b>発生原因</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 出芽時の高温 (30℃前後)</li> <li>● 床土の土壤水分が少ない</li> <li>● 微生物農薬エコホープD Jを使用 (成分：トリコテルマ アトベリゲ)</li> </ul>
		<b>対策</b> <p>種子消毒にエコホープD Jを使用してカビが発生したが生育には問題がない場合、薬剤散布はせずに様子を見る。</p> <p><b>【予防剤】</b> ヘルシードTフロアブル</p> <p><b>【治療剤】</b> ダコレート水和剤</p>